

令和7年度 NHK 大河ドラマ「大友宗麟」誘致推進協議会 全体会議(総会)議事録

日 時／令和7年5月14日(水)14:40～16:00

会 場／大分市コンパルホール 305

司会(若杉孝宏)／先ほどNPO法人大友氏顕彰会の通常総会が終了、引き続き推進協議会の全体会議(総会)を開催する。オブザーバーとして顕彰会会員の出席を認める。まず自己紹介。

司会・議長は若杉副会長、出席者順次自己紹介、牧会長、佐藤副会長、大分市観光課から樋口課長、水野参事補、磯村主事、津久見市商工観光・定住推進課中津留課長、津久見商工会議所石堂専務理事、大分県芸術文化振興課渡部主幹(総括)、大分経済同友会・後藤富一郎代表幹事、佐伯コミュニケーション会長平岩監事、大友氏歴史保存会木下和子幹事、藤田事務局次長会計、小森事務局次長、呉藤事務局、オブザーバー／林顕彰会臼杵支部長、北島俊一幹事、以上17名。

委任状提出／元大分市議会議員・足立義弘、大分合同新聞社・下川宏樹、大分市観光協会・幸野宏城、ツーリズムおおいた・和田会長、臼杵市産業観光課・山木課長ほか7年度会費納入済み(総会資料参照)会員全員。※すべての会員名は敬称略とさせていただきます。

会議は若杉副会長の司会で全体(総会)会議資料の項目にしたがって進行した

1. 令和6年度事業報告／■5月16日(木)6年度総会開催 ■5月19日(水)第9回宗麟供養祭 ■9月28日(土)顕彰フォーラム in 大分 ■10月19日(土)顕彰フォーラム in 豊後大野 ■10月22日(土)宮崎研修バス旅行 ■11月24日(日)第8回 NPO 博参加 ■11月9日(土)大野川合戦まつり(成大寺・法要)参列 ■11月30日(土)大分っ子神楽祭り協賛・参加 ■1月15日(水)立花宗茂公祥月命日法要参列(臨時) ■1月29日(水)顕彰会・推進協議会合同新春の集い ■2月29日(水)在京大分県人会「法人会員大分新年会(初)」 ■その他役員活動:1月25日(土)大分学研究会例会発表・若杉顕彰会理事長就任記念講演。※詳細は総会資料参照

◎牧達夫会長の活動報告

大友宗麟を全国展開するためには主要都市の大分県人会の協力を得るのが第一義として数年前から活動しているが、6年度から牧会長の選任役務とした(出張経費制約)。

(1)大分県人会における活動

ア・在京大分県人会 イ・福岡県人会 ウ・神奈川大分県人会 エ・東海大分県人会 オ・関西大分県人会。 ※詳細は総会資料参照

(2)各種団体での広報活動

明大校友会6年度総会・親睦会参加、冒頭あいさつと大友氏のPRほか6月から7年3月まで全部で18会場での活動。 ※総会資料参照

(3)NHK 大河ドラマ「大友宗麟」誘致のため要望書提出

7年1月23日、佐藤大分県知事とNHKの稲葉延雄会長を訪問。 ※総会資料参照

2. 令和6年度収支決算書監査報告

平岩監事はその結果を報告した。

3. 令和7年度事業活動報告

例年通り主要イベントを以下に列記するが、特に7年度は全国展開を強化するため主要都市の大分県人会との交流をさらに深める。また宗麟生誕500年を5年後(2030)に控え今年度から準備に入る。これは官民一体となった組織が必要であり佐藤知事にその旨の要望書を提出した(総会資料11頁参照)。大河ドラマ推進協議会会員は他団体と横断的組織作りの際、中心となる意識が望まれる。

一、 会員拡充と大河ドラマ推進協議会活動の強化について

二、 関係団体、大友氏ゆかりの市町村、政財界、文化人との連携・交流を引き続き実施する

三、 NHK への大河ドラマ要請活動

四、 宗麟公生誕500年に向けて、5年間の具体案を策定する

五、 宗麟439回忌供養祭5月17日臼杵樹林寺、津久見宗麟墓地

六、 フォーラム in 大分10月25日(土)13:00～センチュリーホテル大分

フォーラム in 国東11月22日(土)13:00～アストホール国東

七、 研修バス旅行9月23日(祝)柳川市御花～黒木町五条邸

八、 その他の事業

◎6年度会計監査 4月下旬 佐伯コミュニケーション

◎推進協議会総会 5月14日(水)14:30～大分市コンパルホール 305

◎『大友氏の風景(13)』編集作業と発行 10月上旬

◎アルメイダ生誕500年記念誌『アルメイダの生涯』6月発刊

◎8年1月～2月、顕彰会・推進協議会合同新春の集い

◎8年1月15日第2回立花宗茂公祥月命日法要・福巖寺にて、数名の参加を予定

宗麟公まつり廃止により県外団体との交流の場が途絶えた。福巖寺での法要参列は交流の一環と位置付ける。柳川市は立花宗茂の大河ドラマ化について専門部署を設けている

◎また、上記2冊の書籍発行に関し若杉副会長から以下の説明があった。

まず『大友氏の風景(13)』掲載の大分合同新聞記事利用に1点千円の著作権料が発生する。平均30点あり3万円の出費となる。一方、『アルメイダの生涯』は本来大友氏顕彰会の事業とすべきところ経費の関係で牧会長の自費出版とした。全額個人負担ではきついので大友氏顕彰会と大河ドラマ推進協議会から補助金(計20万円)を拠出、その経緯を説明し出席者に了解を求めた。全会員で販売に努め回収を図る。同時に『大友氏の風景(13)』の販売にも努める。さらに、大分市1%応援事業の補助金確保のため集票活動をお願いした。7月末日締め切り。6月初旬大分市の全会員に投票用紙を配布する。

九、 牧会長ほか各役員活動予定は総会資料10頁参照。その中で佐藤副会長は発足からの歩み＝タイムスケジュールを説明、1年間の事柄を追加しながら毎年配布してきた。過去上

野丘高校で大友氏の講義をした中で生徒から大河ドラマはどうしたら実現しますか？との問いに「君が大学を卒業してNHKに就職、ドラマ部門に配属されて自分で実現したらどうですか」と応えた。つまり全県民が自分事として捉えることが重要である。また、宗麟公生誕500年記念事業は当大河ドラマ推進協議会が母体となった組織作りを考えたい、と訴えた。

十、最後に予算と会費納入の状況を説明した。昨年と同時期の5月中旬では15万円ほど少ない。5月末まで様子を見て未納会員には再度振り込みの依頼(督促)しようと考えている。

5月末日 記録者／若杉孝宏(事務局)